

第4回 静岡県支部総会報告

静岡県支部 副支部長 青島秀治(昭63・生)

平成28年8月28日(日)にクーポール会館(静岡市葵区)において第4回鶴風会静岡県支部総会、講演会及び懇親会を開催しました。当日は、風呂田鶴風会理事長、高橋理学部長を始めとした来賓の方々の他、準会員4名の保護者の方々6名(二組ご夫妻)を加え、14名が出席しました。

総会は、中嶋支部長、風呂田理事長の挨拶から始まりました。議事として、2015年度活動報告、決算報告及び監査報告並びに2016年度活動計画案及び予算案が上程され、いずれも満場一致で承認されました。また、活動計画案の報告では、中嶋支部長から「今後は他支部の総会にも出席させていただき、静岡県支部の活動に役立てていきたい旨の発言もありました。

続いて、高橋理学部長から理学部の現状について「理学部の今」と題して紹介がありました。英会話や海外活動など、筆者在校生であった頃と比べるとカリキュラムが非常に充実していることに驚かされました。また、本学では教員養成課程において小学校の教員免許も取得でき、小学校では「理科に強い教員」として期待が大きいことを知りました。さらに、校舎の立替、新たな学部の設定など、大学の発展の様子を感じ取ることができました。

総会後の講演会では、静岡県立大学教育研究推進部地域・産学連携推進室長である中嶋支部長が「食の安心・安全はただか？」と題して講演を行いました。講演では、食品と医薬品との違いなど基本的なことに始まり、食品や医薬品の安全性を保障するための手法の詳細など専門的な内容を紹介していただきました。特定保健用食品や機能性表示食品などが登場し、食品と医薬品の境界が分かりにくくなっていること、我々が安心して食品や医薬品を口にできるようにするためには大変なコストがかかっていることなどを認識することができました。

懇親会では来年度以降の進め方などについて意見交換が行われました。今回は、たくさんの方の保護者に御出席いただきましたが、多くの方は懇親会には参加されなかったため、発言できる場は、総会の質疑応答の時間に限られてしまいました。議事についての質疑は無かったので、来年度以降、保護者の方々の発言の場を作ることで意見が一致しました。

今回出席して、静岡支部の活動は回を重ねるごとに充実して行くものと改めて感じることができました。

